

## 環境福祉経済委員会記録

### 1. 病院局関係分

#### (1) 付託事件審査

##### ①議案第39号 平成26年度光市病院事業会計補正予算(第1号)

説明：西村病院経営企画課長 ～別紙説明書のとおり～

#### 質疑

##### ○森戸委員

現在、医療提供体制の補助金をなくしたということ始めて聞いたのですが、これは、どういった経緯で補助金をなくなったのでしょうか。その辺のところを教えてください。

##### ○田村光総合病院業務課長

平成21年度から、医療提供体制推進事業補助金ということで、救急勤務医の支援事業として補助金が創設されました。数年前より、この補助金は、打ち切られるかも知れないとはお伺いしていたのですが、導入当初、二次救急医療機関等の、救急医療に携わる医師に対しまして、処遇改善を促す為に、休日・夜間において、救急勤務手当の創設がされました。その当時、創設以前より手当を増額して支出した場合に、補助金が支払われるものでございましたが、前年度までございました。今年度はその補助金がなくなるということで、県の方から通知が来しました。

##### ○森戸委員

こういうものはあれですか。いきなりこういうタイミングで来るのですか。年度が終わろうとするタイミングで。その当初からも、そういう話があったのですか。当初というのは、年度の当初という意味です。

##### ○田村光総合病院業務課長

数年前からでございますけど、担当者の方には、この補助金というのはいつまで続くか分からないという話があったようでございます。

##### ○森戸委員

はい。分かりました。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・休 憩・・・・・・・・・・・・・・・・

## 2. 福祉保健部関係分

### (1) 付託事件審査

- ①議案第34号 平成26年度光市一般会計補正予算（第5号）  
（福祉保健部所管分）

説 明：古迫福祉総務課長 ～別紙説明書のとおり～

### 質 疑

#### ○畠堀委員

2点ほどご質問させていただきます。先ず1つはですね、22、23ページの児童保育費の中ですね、保育特別支援事業の、病児・病後児保育事業他市町負担金ということで、これの見込みが増えたということなのですけども、市内の施設が今休止中なので、市外ということですけど、実際に人数が増えているのか、それとも市外に依頼することによって、単価と言いますか、費用面で増えているのか、その辺りの増額の内容について、教えて頂けたらと思います。

#### ○小野子ども家庭課長

実際に、利用人数が増加しております。140人を見込んでおったところが230人ということに、実績見込みではなっております。

#### ○畠堀委員

了解しました。有難うございました。もう1点はですね、同じく24、25ページの予防費のところですね、先程説明頂きましたけれども、各種予防接種分において、かなり、当初見込みより減額されているようですが、この辺りの、子どもの予防接種の状況について、どのように評価されているのか、お尋ねします。

#### ○奥河内地域包括ケア調査担当次長兼健康増進課長

実績見込みによるものでございますが、減額が大きいのが、ヒトパピローマウイルス感染症で1,190万円でございます。これにつきましては、平成2

5年に、重篤な副反応が報告されましたことから、積極的勧奨を控えています。この影響で、接種者数が減少したということでございます。それから、下から2番目の水痘の予防接種でございますが、これは、昨年から定期接種になったもので、当初見込みを下回った訳でございますが、これにつきましては、定期接種になる前に、任意接種として接種をしておられた方もかなりいらっしゃったということから、接種者数が減っているものでございます。

#### ○畠堀委員

大口のものについては、積極的勧奨を控えたただとか、既に受けられているということで理解しました。その他の項目について、保護者の方に必要性なりそういったものが伝わっているのかどうなのか、というところについて、今後の取り組みとして、しっかりPRお願いしておきたいと思えます。

#### ○加賀美委員

確認しておきたいと思うのですが、21ページの下の方の、児童手当支給事業がマイナスというか2,200万円も、対象人員は何名だったということと、同じく23ページのですね、生活保護という事業ですね、保護世帯がこれだけ増えたということでもありますけども、世帯数がいくらからいくらになったのか、この辺の数値が分かれば教えて下さい。

#### ○小野子ども家庭課長

児童手当支給事業の方でございますが、当初見込みを、76,140人と見込んでおりましたところ、これ、述べ人数でございますが、73,850人ということで、月平均に致しまして、約191人減少したということでございます。

#### ○古迫福祉総務課長

生活保護の人数でございますが、先ず、平成25年度の月平均が418名、今年度1月末までの月平均が455人ということで、37人の増加でございます。世帯は、同様に、平成25年度が320世帯、それが今現在、351世帯ということで31世帯の増加でございます。

#### ○磯部委員

確認だけさせて頂きたいと思えます。23ページの、私立保育所の運営事業というところで、保育園入所者の見込みが増えた、889から908ということで、単価増もあるというご説明を頂きましたけれども、この増加になった背

景の中で、年齢、特に何歳ぐらいの子どもたちの増が顕著なのか、その辺りのことはわかりますか。同時入所のこともあるので、その辺りをちょっと私はお聞きしたいなと思ったのですけどね。

○小野子ども家庭課長

最も増えた児童の年齢でございますが、それぞれあるのですが、1、2歳児がやっぱり1番多い形であります。やはり、2人目同時入所等の関係もあるのかなと考えております。

○磯部委員

はい。分かりました。それとですね、良く聞き取れなかったのですが、25ページの上から2段目の予防の委託料のところ、小児の肺炎球菌感染症予防接種委託料、これは任意の接種ということで、7項目から13項目に変更されて、6歳未満の未受診の子どもがいると、で、それを促す為の、対象者900人、で、自己負担も結構、4,300円ということなのですけど、有料ということもあって、控えているところもあると思うのですけれども、現状、全体的な、その、やって欲しい、小児の子どもに対して、その周知っていうのは、ある程度なさっていると思うのですけど、これから、この辺りのことをどうされようと思っていらっしゃるのか、現状だけ把握させて頂きたいと思います。

○柏木健康増進課保健指導担当課長

本事業は小児の肺炎球菌感染症予防接種が7価ワクチンから13価ワクチンに変更となり、7価を完了した子は、13価ワクチンを受ける機会がないため、定期接種でカバーできない6歳未満の13価ワクチンを打ったことのない子を対象としておりまして、マックスで1,300人を見込んでおります。予算においては接種率を7割ぐらいと見込み、今回900人を計上しております。この周知にあたっては、3月末に個別接種の勧奨を致しますし、勿論、母子保健推進員さんを通じてや、広報であるとか、メールでの配信であるとか、色んな形で周知徹底していきます。また、4月生まれの子どもは接種可能期間が短いため個別に電話連絡で勧奨していきます。こうした中で、医師会の協力を得て、市内の医療機関にも十分説明を行い対象者が漏れることなく実施していきたいと考えております。

○磯部委員

良く分かりました。その中、これは今、分かるのですけども、その上の何色かな、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種委託料、この減額、国からのので

すね、控える、控えろという、まあ色々重篤な、生徒さん、生徒さんでしたでしょうか、その辺りもあったので、受診勧奨をしないという、控えるという、その現状は未だにそういう曖昧な形なんでしょうか。非常にその辺りを

○奥河内地域包括ケア調査担当次長兼健康増進課長

現在、国の方から、まだ、その辺りの動き等の情報は入ってきておりませんので、従来と変わらず積極的勧奨は控えるというスタンスでございます。

○磯部委員

分かりました。非常にあの、デリケートな部分でもありますので、まあその辺りのことも含めて、分かりました。有難うございます。

○森戸委員

5ページ、乳幼児医療費助成事業と予防接種事業に関して、緊急支援の交付金だと、というのが財源だということなのですが、この2つのサービスに関しては、今後、おそらく続けていかれるのだらうと思うのですが、交付金自体は単発的なものなのか、ずっとあるものなのか、サービスを続けるのであれば、その辺の財源のところは今後心配になるのですけども、その辺の国の動向はどうなのでしょう。

○都野福祉保健部次長

こちらの交付金は、まち・ひと・しごとの関係の先行型ということで、27年度に企画部の方で光市の戦略を作ってその中に盛り込んだものを前倒しするというので、その戦略は今、5年間の計画であろうというところまで聞いております。財源も一応その計画の中に盛り込んだものが引き続き継続されるであろうというぐらいの情報しか財政サイドの方も掴んでおりませんが、福祉としましては、5年間の計画の中で、財源をあてて頂いて、その後は市単独事業で継続するという形になると思います。

○森戸委員

分かりました。当面はその財源の裏付けとして、5年ぐらいは、国の方の支援があることは分かりました。それと、21ページの地域密着型サービス拠点施設整備事業、これは、上島田・三井・小周防及び大和エリアで、認知症対応型のサービスの拠点、手を挙げるところが無かったということなのですが、手を挙げるところが無かったということは、サービスを提供する事業者がみて、

このエリアでは難しいのか、まあ、ニーズが無いから難しいのか、その辺のところはどういう考えておられるのか、お聞かせ頂けたらと思います。

○中邑高齢者支援課長

今年度、島田、上島田、三井、周防地区と大和地域において、認知症対応型共同生活介護施設を計画しました。対象事業者に、整備の方の意向を確認、調査したところ、理由の方は定かではありませんが、整備意向を示す事業者がいなかったというところがございます。

○森戸委員

行政としては、ここに必要だからこそ、こういう補助制度を作っている訳だろうと思うのですが、逆に言うと、認知症の拠点として必要だから、こういうお金で手を挙げませんかと言っておられる訳ですよ。ですから、逆に言うと、そういうサービスを受けたい方がおられるから、行政としては、事業者に対して、こういうのをやりませんかという話だろうと思うのですが、逆にこれは、サービスを受ける側にとってみれば、ないと逆に困るのではないかと思うのですが、この辺のところはどうなのですか。

○中邑高齢者支援課長

以前、第5期介護保険事業計画を策定する時点でグループホームの待機者がおられ、整備要望も出ておりましたことなどを踏まえ、第5期計画に整備を計画したところがございます。26年度、グループホームの待機者を確認したところ待機者は6名でございました。今年度、浅江地区に定員9名の施設を整備致しましたので、その辺りで現待機者の解消は図られると見込んでいるところではございます。

○森戸委員

了解致しました。以上です。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②議案第37号 平成26年度光市介護保険特別会計補正予算（第3号）

説 明：中邑高齢者支援課長 ～別紙説明書のとおり～

質 疑：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②議案第37号 平成26年度光市介護保険特別会計補正予算（第3号）

説 明：中邑高齢者支援課長 ～別紙説明書のとおり～

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・休 憩・・・・・・・・・・・・・・・・

### 3. 環境部関係分

#### (1) 付託事件審査

①議案第34号 平成26年度光市一般会計補正予算（第5号）  
（環境部所管分）

説 明：山根環境政策課長、小田環境事業課長、中本深山浄苑長 ～別紙説明書のとおり～

質 疑

○土橋委員

薬剤散布のことなのですがね、これは、やらなければいけないからやるっていうのですか。やらなくていいものをやっているのですか。

○小田環境事業課長

必要が有るか無いかは、判断する基準として常時4月から9月まで実施しておりましたものを、申請、自治会長等に申請して頂いて、実施が必要かどうかいうのを、判断を仰ぐために、こういった形を採っております。

○土橋委員

なんでそういう質問をするかっていうと、先程ね、自治会からの苦情があった、だからやらないのだと、その類のものなのですか。

○小田環境事業課長

苦情というのが、自治会の代表してと言うよりも、散布する際に1個人から業者に対して、そういう苦情がある、ということでございます。

○土橋委員

苦情があるからやらなくてもいいような散布なのかということですか。

○小田環境事業課長

現在、道路側溝に水が滞留することは、少なくなっております。こちらとしても、申請があれば、現地を調査して、蚊とかボウフラ等が発生している、発生する可能性が有るかどうかを調査して、散布が必要かどうかを、判断させて頂くような方式を採らせて頂いております。

○土橋委員

それとあの、海岸清掃等委託料っていうのが、198,000円と言われてましたけれども、あ、1,908,000円か、1,980,000円って言われたからね。

○大樂委員長

数字の読み間違いです。小田環境事業課長、訂正をお願いします。

○小田環境事業課長、

失礼しました。1,980,000円でございます。

○森戸委員

27ページの、生ごみリサイクル促進事業補助金についてなのですが、この生ごみもそうですし、太陽光の補助にしてもそうなのですが、まあ、生ごみについては、520,000円の減額ということで、見込みより少なかったということなのですが、太陽光もそうだと思いますが、こういった、市民の感情というのですか、環境への熱が上がってきたと、そういう風な空気なのか、それとも、まあこういうサービスに慣れてしまったのか、もしくは、また、力の入れようがないのか、その辺のところはどのように分析をされていらっしゃいますでしょうか。

○山根環境政策課長

太陽光発電システムの設置の減額についてでございますが、今年度は特に、既存住宅への設置が減少をしております。この原因として考えられますのが、平成25年度で、国の補助制度が終了したことによるものだと思っております。既存住宅への設置希望の方につきましては、国の補助を活用されて、多くの方が設置を済まされていると、推測をしておるところでございます。

○小田環境事業課長

生ごみリサイクル促進事業の件でございますが、予算的に多すぎた部分もあるとは思いますが、現状としては、この中で、段ボールコンポスト、これについては、年々減少しているのが現状でございます。確かに、我々のPR、周知不足ということもあるとは思いますが、リピーター率もかなり低下しておりますので、知っているけどめんどくさいというような理由で、辞められている方が多いのが現状でございます。

○森戸委員

分かりました。太陽光については理解をします。この、ゴミのリサイクル、何故、こういう風に申し上げるかという1つは、コンポストに関して、中々難しいかなという、リサイクル自体が、私もやってみたことあるのですが、うまくいきませんでしたので、その辺のところもあろうかと思うのですが、1つは今後、恋路のクリーンセンターで、搬入割というのが導入されるということでございますので、積極的にゴミ減量を、ゴミ等の減量を進めていくことが、かかる経費を下げていくことに繋がると思いますので、一旦ですね、入れ替えというか、見直しも含めて、色んな策をですね、張り巡らせて頂きたいと思しますので、お願いとしておきたいと思います。

○加賀美委員

27ページの、先程あの、土橋さんの方から話がありました。その薬剤散布ののですけれども、これは、従来、公共下水道が開始されていない時は、どうしてもやる必要だと、蚊とかね、あの関係で、必要だったけども、その時の情報がそのままね、適用されて、町内会に配布されておられると思うのです。今、お話がありましたけども、自治会からの要請によってやるっていうなら、そういう制度をきちっと決めて、要請のあったところだけをやるというようにしていかないと、従来からずっとやっているところを同じようにしている傾向があるのです。うちの町内でもそれがありませんでしたので、あれ、必要ないよと言

うて、雨水しか流れてない訳ですからね。その辺は、今後検討して頂きたいと思います。それから、下のビーチクリーナーの購入費ですね、これは3,000,000円の減になっているのだけど、当初計画と実際はどのくらいの差があったのですか。そこのところをお聞かせ頂きたいと思います。

○小田環境事業課長

12月の補正で、21,000,000円の補正予算を頂いております。それに対して、約3,000,000円の減額となっております。

○加賀美委員

いわゆる、21,000,000円にして18,000,000円ということは、そんなに、3,000,000円も下げられるのかね、そこら辺の補正をわざわざして、増やして更に減額になったってことは、どういうことなのか。

○小田環境事業課長

このビーチクリーナーは特殊車両ということで先程説明したように、1社しか取り扱いがございませんでした。当初予算要求の際は、このビーチクリーナーは、定価で積算の方を出して頂いておりました。購入時には予定価格を設定して、見積もり徴取した結果、約3,000,000円の減額となった経緯がございます。

○加賀美委員

分かりました。

○磯部委員

確認だけさせて下さい。25ページの上段、自然敬愛・環境基本計画推進事業の、先の先行議員も、太陽光の方は述べましたけど、これ、光市省エネ生活普及促進事業補助金5,000,000円の減、太陽光も含めて、色んなメニューがあったと思いますけど、この辺りのことはどういう風に分析されていますか。この、5,000,000円の減というのは。

○山根環境政策課長

この、5,000,000円減は、すべて太陽光発電システム予算でございます。省エネ設営、設備の方は、全額執行済であります。

○磯部委員

はい。良く分かりました。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②議案第36号 平成26年度光市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

説 明：松本環境部次長兼下水道課長 ～別紙説明書のとおり～

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・・・・・・・

#### 4. 建設部関係分

##### (1) 付託事件審査

①議案第34号 平成26年度光市一般会計補正予算（第5号）  
（建設部所管分）

説 明：田村道路河川課長 ～別紙説明書のとおり～

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・・・・・・・

#### 5. 経済部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第34号 平成26年度光市一般会計補正予算(第5号)  
(経済部所管分)

説明：杉岡商工観光課長、國本農業委員会事務局長、末岡農業耕地課長、藤井水産林業課長

質 疑

○木村則夫委員

2点ばかりお尋ねしたいと思います。まず、商工費ですが、まあ31ページ中ごろの工業団地整備事業、先程のご説明ではですね、工業団地内の除草委託料を、まあ経費削減を行ったという風な説明だったと思います。この1,300,000円ですが、これ元々の予算というのは。

○杉岡商工観光課長

工業団地整備事業の、除草委託料でございますが、全体予算、5,409,000円でございます。

○木村則夫委員

5,400,000円なにかしに対して、1,300,000円、かなりの割合合いで削減が出来たということなのですが、先程の説明のその、経費削減というのはどういったことがなされているのかということでございます。

○杉岡商工観光課長

工業団地につきましては、大和工業団地、それと、周防工業団地、並びにひかりソフトパークも含めた工業団地の関係の環境整備ということで、ソフトパーク関係の敷地につきましては、道路側から2メートル程度しか除草しておりません。未分譲は、買い手の方がいらっしゃれば、当然、綺麗にしなければならないのですが、今、そういった問い合わせが無い中で、道沿いの2メートル程度除草したという形の中で、経費を削減させて頂きました。

○木村則夫委員

当初と途中でこの範囲を縮小して、経費の削減に繋げていったという理解で宜しいですか。

○杉岡商工観光課長

はい、結構です。

○木村則夫委員

はい。分かりました。もう1つあるのですが、それは、それで本来の除草の目的を果たせるっていう判断をしたということなのですね。

○杉岡商工観光課長

そうした中で大和工業団地としても、若干回数を減らしております。

○木村則夫委員

はい。分かりました。当然、必要なものはやらなきゃいけないでしょうけども、また、一方で、除草等の作業が、まあ各所管に亘ってかなりの金額を占めておりますので、まあ一定のこうした合理的な削減に努めて頂きたいと思えます。もう1点ですが、37ページ、これの中ほどなのですが、農林水産施設災害復旧費ですけれども、市の単独事業の、まあ、測量設計等委託料が、まあ1,000,000円減額になったということですが、先程説明を聞き逃したのですけれども、全体の当初予算は8,850,000円、それに対して1,000,000円の減額、これを職員で賄ったということであったように思いますが、これは何件ですか。それと、ちょっと職員で賄えた理由はどういうことであったか、もう1度お願いします。

○末岡農業耕地課長

災害復旧の測量設計等委託料、1,000,000円の減額でございますが、公共災害と言いまして、補助災害を頂くに際しまして、測量等を行って、国の査定を受ける訳なのですが、26年度は1件のみでありましたので、職員で測量設計を行って申請したことから、丸々1,000,000円を減額させて頂きました。

○木村則夫委員

先程の質問に、まだお答えして頂けてないのかなと思いますが、本来では、外注する予定だったものを、市の職員で賄ったということですよ。その理由というのは、もう1度お願いします。

○末岡農業耕地課長

災害の多い年であれば、20件、30件と災害がございます。その場合は、職員では対応出来ませんので、外注をさせて頂く訳なのですが、今年度のよう

に、1件、2件の場合には、職員で、測量設計を致しまして、査定を受けると  
いう運びにしておりますことから、減額させて頂いたということでございます。

○木村則夫委員

はい。分かりました。それで、全体の8,850,000円に対して、1,  
000,000円の減額が発生したということなのですね。

○山本経済部長

委員ご質問の測量設計等委託料につきましては、当初予算で1,000,0  
00円という予算を頂いておりますこれは、先程課長がご説明致しましたよう  
に、その年にどれだけの災害が起こるか分からないというところで、職員で賄  
えぬ場合に、委託料として予め予算を頂戴しておりました。昨年のように災害  
が少なければ、それは、職員で対応が出来たということで、その1,000,  
000円を執行しなかったので、全額を、補正でおろさせて頂くということ  
でございます。

○末岡農業耕地課長

この、補正予算書にあります、補正前の額、8,850,000円でございます  
ますが、これは、工事費を含めた全体の金額でございますので、必ずしも、測  
量設計のみが記載されておるものではございません。測量設計は、当初から、  
1,000,000円であったと、ご説明させて頂きました。

○磯部委員

1点だけ確認させて頂きたいのですが、31ページのプレミアム付きの商  
品券の事業補助金、前回に引き続いて、非常に有り難いなと思いますけども、  
前回の時も、いろいろなお声があったのですが、大規模店と小規模店、地域の  
活性化という意味でも、その辺りのそのパーセンテージのすみわけというか、  
そういう風な考え方があったのかどうか、まあ、その辺りの見解を、いいです  
かね。

○杉岡商工観光課長

26年度に実施しましたプレミアム付商品券では、大型店での利用が、約7  
8パーセント程度を占めております。この度、新たに補正でご審議して頂くよ  
うになる商品券につきましては、先程、委員さんも申されましたように、小規  
模店用と大規模店も使える共通券に分けたものになりますが、いずれにいたし  
ても、近々、実行委員会が開かれますので、その中で、検討させて頂いて取り

纏めをするようになると思っております。

○磯部委員

非常に有り難い、プレミアム付商品券というのは、市内の活性化に繋がりますので良いと思っておりますけど、非常にそういう大型店に、これがいけないという訳ではないのですけども零細中小企業にそういった底上げという意味もあると思っておりますし、他市、九州、色んなところでは、そういうのはきちんとすみわけされているっていう事例も結構こう聞いていたものですから、まあその辺りの考え方を確認させて頂きました。実行委員会の中で様々な検討というところで、行政が入るということですので、しっかりと分析をして頂きたいと思っております。

○森戸委員

プレミアム付商品券なのですが、まず、この20パーセントのプレミアなのですが、近隣の状況はどういう状況か、教えて頂きたいと思っております。

○杉岡商工観光課長

近隣周南地域の、周南地区でございますが、プレミアム率につきましては、10パーセントと聞いております。

○森戸委員

30パーセント位のところもあると聞きましたが、そういうのもあるのですか。

○杉岡商工観光課長

国の方が示しておるのは、10パーセントから40パーセントまで良いですよと聞いております。実際、公表もされていないところもありますので、どちらの市町で、20パーセント、30パーセントというのは、まだ把握しておりません。

○森戸委員

で、この20パーセントと、まあ、今回発売する額ですね、が、去年の3倍程度ということで、その、額のプレミアについては、どういう風にお決めになられたのですか。

○杉岡商工観光課長

プレミア率でございますが、この度、この地方消費関係のプレミアム商品券につきましては、全国、それぞれの市町村で実施されるとお聞きしております。光市として、消費者の方にインパクト与えて、購買意欲を持って貰って、市内で消費して頂くということから、20パーセントで、約今年の3倍程度のお金が、市場の方に流れると考えて、20パーセントという形の設定をさせて頂いております。

○森戸委員

その設定自体は、誰が決めるのですか。誰がと言うよりは、商工会とこういう話は常にしてあるところの中で、決めたということで良いのですよね。

○杉岡商工観光課長

交付金が7,100万円というのをご存知だと思うのですが、それを元に、事務経費並びに印刷とかありますので、そういったものを差し引いて金額を割り戻したという形であります。

○森戸委員

商工会の方も、まあ、合意を得ながら、この発行額、プレミアに決まったのですかという意味合いです。

○杉岡商工観光課長

これにつきましては、商工会議所の方にも、絡取りまして協議をさせて頂いております。

○森戸委員

1つ危惧されるのは、この額なのですけど、これがきちんと売れ残らないで販売出来るかどうか、その辺のところはどういう考えられていますか。私としては、ちょっと売れ残ってしまうのではないかと心配をしているところなのですが、そういうところは どうお考えですか。

○山本経済部長

委員のご心配は我々も良く理解出来ます。金額的に、昨年が1,000万円のプレミアム事業費、今回は、全体では7,100万円と、単純に比較すれば7倍の予算になります。そういったことで、今回は、換金手数料、或いは、先程課長も申しましたような事務的な経費も、この中で負担させて頂こうということで、実際に、プレミアム分での位使えるかということで、昨年、実際

に1回やっていますので、大体経費の比率は分かっております。それでやった時に、6,000万円程度それにあてることが出来るだろうというところで、仮に、この6,000万円で、昨年と同じ10パーセントで商品券を発売した時に、6倍規模ということになる、6億円を超える消費に繋がる訳でございますが、結果としてはその方が、はるかに効果は高いのですが、6倍では売れるかと、まさしく、今、委員がご心配される、そこがございました。それで、10パーセントのプレミアム率を20パーセントに上げることによって、先程、課長も申しましたような、消費者に対するインパクトを与えて、購買意欲に繋げていこうというところで、事前の会議所等との接触の中で、こういった数字を出してきたというところで、ご理解頂けたらと思います。

○森戸委員

はい。了解しました。それとですね、発売の時期なのですが、去年はまあ8月からということで、同時期に発売された周南市は、6月に発売をされているということなのですが、今回、当然、去年もやっている訳ですから、その辺も早めの、要は、ボーナス商戦ですね、夏の、に、間に合うような形で、是非お願いをしたいと思うのですが、その辺のところは如何でしょうか。

○山本経済部長

去年は、光市では久しぶりの事業でございましたので、色々準備に時間がかかりましたけど、今回は、前例がございますので、それほどかからないし、また、今回は、3月補正で予算を決めて頂けますもので、この後、直ちに具体的な作業にもかかれます。そういったことから、去年の周南市並みには、少なくとも対応していきたいと思っておりますが、いずれに致しましても、これから実行委員会で、その辺を協議させて頂きたいと思っております。

○森戸委員

宜しくお願い致します。で、最後に1点、このプレミアム商品券なのですが、私も、去年のですね、プレミアム商品券の時に、小規模なお店について、分けるような形で、是非販売をして欲しいと申し上げたのですが、その時は、要は、消費税の落ち込みを防ぐと言う意味合いから、全部に公平に行き渡るような形で、ということでのご回答で、そういうことは出来ませんというお話でございました。今回は、地方創生というような、意味合いがまた変わったのだらうと思っておりますので、全国の事例を見ても、色んな商品券の発売の仕方で、A券とかB券とか、分けて発行しているところもたくさんございますので、そういう事例を参考に、是非お願いしたいと思うのですが、その辺のところは如何でしょ

うか。また、改めてお伺いします。

○山本経済部長

26年度に実施致しました、光市の単独の事業につきましては、只今、委員仰せのとおり、消費税の影響で消費が落ち込む、その辺を出来るだけ避けるというところで、消費の拡大が目的でございましたので、そのような対応をさせて頂きました。今回は、国のそういった補正への対応ということで、事業の目的も若干異なって参りますので、その辺りについては、今後、実行委員会の中で商工会議所、商工会の方々のご意見等も、色々参考にさせて頂いて、最終的にどのような対応をするか、色んなやり方があるかと思っておりますので、その辺は十分に協議をして参りたいと思っております。

○森戸委員

はい。了解致しました。宜しくお願い致します。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」